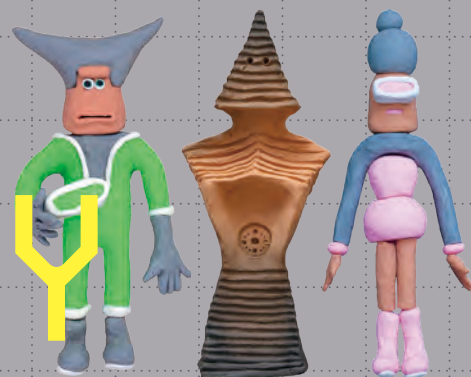


DIGITAL ANALOG TECHNOLOGY



トークセッション

デジタルとアナログ、テクノロジー

拡張されるリアリティ、溶けゆく境界

SPEAKER



粘土に命を吹き込むモーションキャプチャー

呼吸する粘土

方野 公寛 (アーツカウンシル金沢 ディレクター)



没入型ミステリー体験、イマーシブシアター演劇
『記憶を殺したのは誰か』

虚構の肌触り

西永 貴文 (脚本家・演出家/meototo)



MRゴーグルを用いた映像表現

拡張のラボラトリー

出原 立子 (金沢工業大学メディア情報学部メディア情報学科 教授)

定員

先着 **20**名

観覧無料

事前申込優先

2026

3.15 SUN

14:00 - 16:30

開場 13:30

@ Guest House Pieni

金沢市地田町
4丁目24番地



アー
ツカウ
ンシル
金沢

主催・お問い合わせ

アーツカウンシル金沢 (公財) 金沢芸術創造財団

金沢市柿木畠1番1号 金沢市役所第二本庁舎2階 Tel. 076-223-9898 <https://artscouncil-kanazawa.jp>

デジタルとアナログ、テクノロジー

拡張されるリアリティ、溶けゆく境界

この建物です！



HIROGERU
SHIYA



新たな創作手法と視点の共有体験

「デジタルとアナログ」「テクノロジーと身体」「現実と虚構」といった対立項が交差・融解する

実験的で新たな表現をテーマにした全4部構成。専門性と親しみやすさを両立した学びと交流の場。



タイムスケジュール

1
14:00-

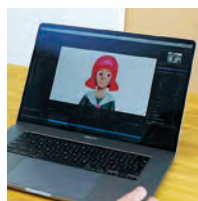
粘土に命を吹き込むモーションキャプチャー

呼吸する粘土

身体性がデータに溶けるとき

方野 公寛 (アーツカウンシル金沢 ディレクター)

油粘土はクレイアニメなどアナログ映像を支えてきた素材。本セッションでは油粘土にモーションキャプチャーを組み合わせ、表情や声のデータを取り込み生命感を与える試みを紹介し、アナログとデジタル融合の表現的可能性を解説します。



モーションキャプチャーを用いたクレイアニメーション

2
14:40-

没入型ミステリー体験、イマーシブシアター演劇
『記憶を殺したのは誰か』

虚構の肌触り

物理空間に立ち上がる非現実

西永 貴文 (脚本家・演出家/meototo)

没入型ミステリー演劇『記憶を殺したのは誰か』を手がけたmeototo西永貴文氏を招き、VRを使わず仮想世界のような体験を生んだ独自のリアリティと制作秘話から、「没入」の本質を多角的に探ります。



meototo公演
「記憶を殺したのは誰か」

15:15-

小休憩

3
15:25-

MRゴーグルを用いた映像表現

拡張のラボラトリー

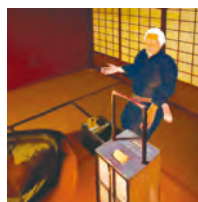
目の前に現れるもうひとつの実体

出原 立子

(金沢工業大学メディア情報学部メディア情報学科 教授)

キャラクターや造形物が空間に出現。MRゴーグルを用いたMR表現の研究・制作事例を紹介し、実演を通してデジタルとアナログが溶け合う世界を体験します。

※ MR (Mixed Reality): VRとARの組み合わせ技術



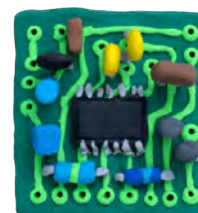
町家の暮らしをMRで再現

4
16:00-

お茶と対話でひらく、体験型交流セッション

質疑応答と体験の時間

登壇者と観覧者が質疑応答や交流を行うカジュアルな対話の時間。モーションキャプチャーやMR技術を実際に体験しながら、情報や意見交換を行います。



お申し込み・お問い合わせ

観覧無料

定員: 先着20名

事前申込優先・当日受付可

※ 定員に達し次第締め切らせていただきます。



アーツカウンシル金沢 (公財) 金沢芸術創造財団

Tel. 076-223-9898 <https://artsCouncil-kanazawa.jp>

会場アクセス

Guest House *Pieni*

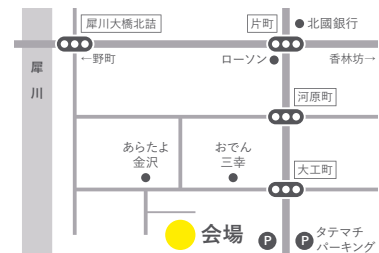
ゲストハウス ピエニ

〒920-0986 金沢市池田町4丁目24番地

※ 会場には駐車場がありません、お近くのコインパーキングをご利用ください。



会場マップ



普段はゲストハウスとして使われているPieniを会場に選び、まちなかで文化芸術に未活用の空間を活用。市民が日常の中で文化芸術に触れられる新たな場と機会を創出します。



アーツ
カウンシル
金沢
Arts Council
Kanazawa

アーツカウンシル金沢とは

文化芸術の担い手や支え手を支援し、誰もが文化芸術に親しみやすい環境を整えるための中間支援事業として、公益財団法人金沢芸術創造財団が運営するものです。アーティストにとって「活動し甲斐のあるまち」ってどんなまち?...がテーマです。



HIROGERU SHIYA

「視野を広げる」をテーマに、アーティストやクリエイターがそれまでの自分にはない視点や世界に気づく、また、ジャンルを飛び越えてクリエイションの可能性を広げ、高めていくための試みとして、トークイベントやセミナーなどを実施する学びのプラットフォームです。